

令和3年度教育活動に関する保護者アンケート（学校評価）

（学校経営・運営ビジョンの内容を評価の項目・観点とする）

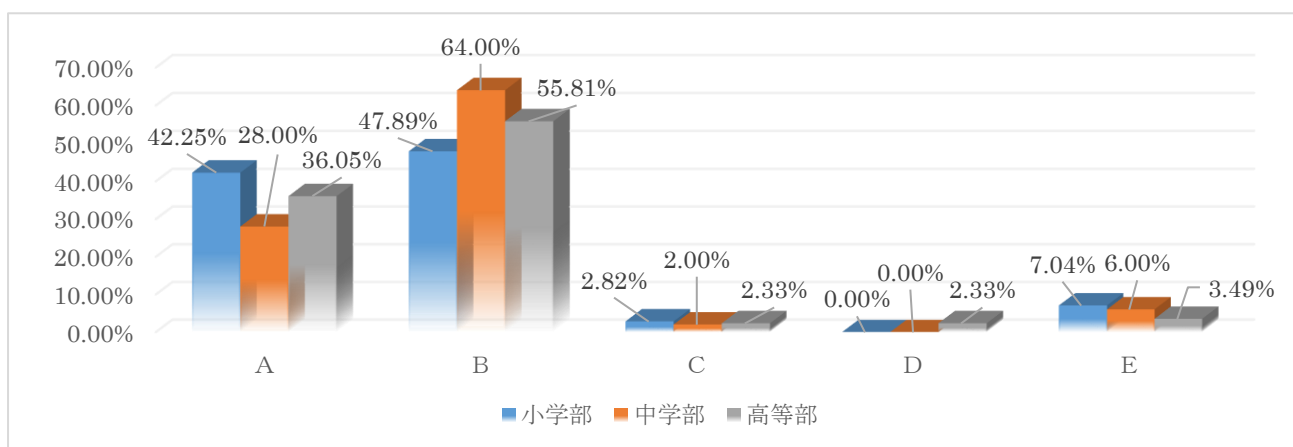
学校評価委員会

A…とてもよくできている B…よくできている C…あまりできていない D…できていない E…わからない

重点目標・重点事項

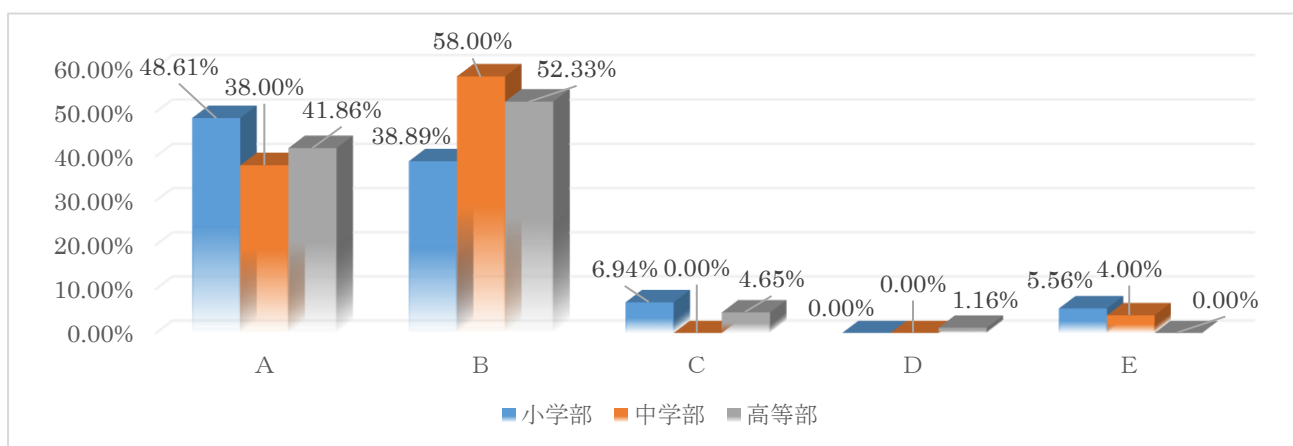
1【重点目標】

保護者・・・学校は、地域の人的・物的資源を活用するなど、社会との連携・協働を図りながら教育活動を計画的に行っている。



2【重点目標】

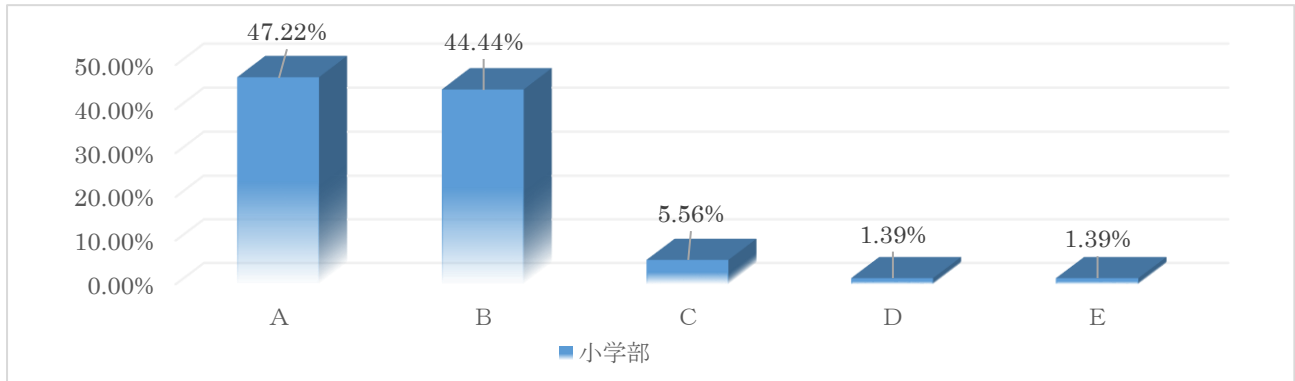
保護者・・・学校は、各教科等の指導内容を適切に配置した授業づくりや卒業後を見据えた学習活動が行われている。



・コロナ禍での新しい生活様式に沿った学習活動に基づき、学習内容の変更や行事等の時期の変更等はあったものの、教育課程の実施を進め、年間指導計画、個別の指導計画に基づいた学習活動を、安全かつ安心して実施できるよう、計画的、組織的に進めることができた。

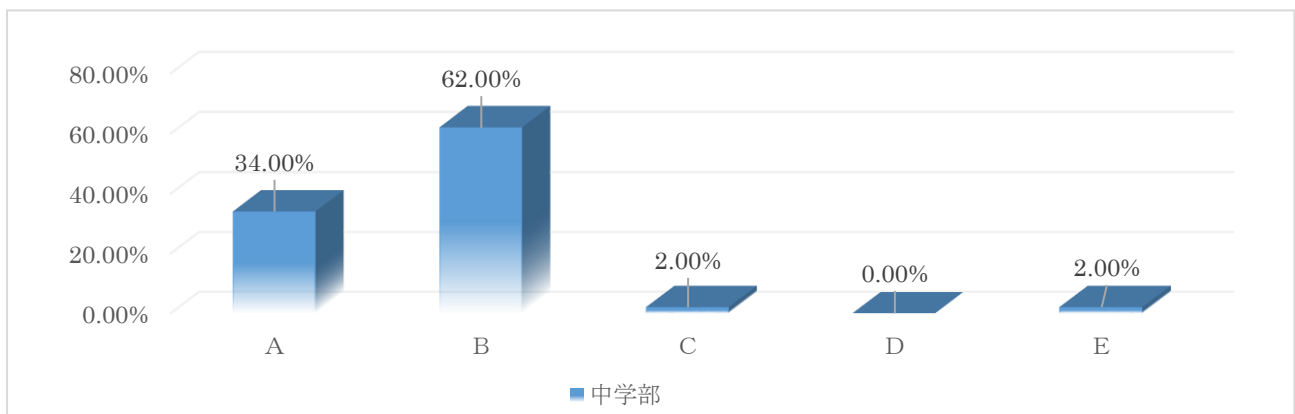
3 【小学部重点事項】

保護者・・・小学部では、年間指導計画の説明や個別の指導計画の説明がされ、6年間や卒業後の学習及び生活を見据えて各教科等の指導内容を適切に配置しながら、授業づくりが行われているとともに、適切な評価が行われている。



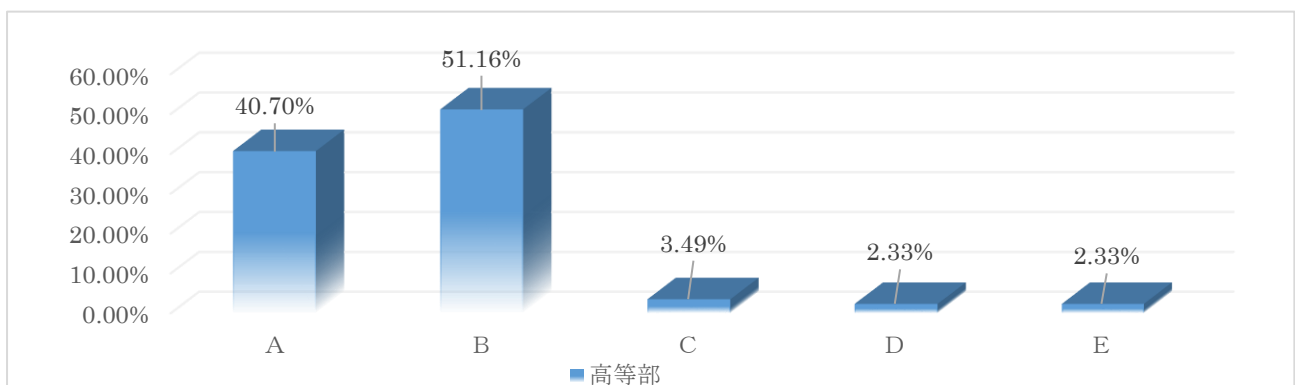
4 【中学部重点事項】

保護者・・・中学部では、年間指導計画の説明や個別の指導計画の説明がされ、3年間や卒業後の学習及び生活を見据えて各教科等の指導内容を適切に配置しながら、授業づくりが行われているとともに、適切な評価が行われている。



5 【高等部重点事項】

保護者・・・高等部では、年間指導計画の説明や個別の指導計画の説明がされ、高等部3年間や卒業後の進路及び生活を見据えて各教科等の指導内容を適切に配置しながら、授業づくりが行われているとともに、適切な評価が行われている。

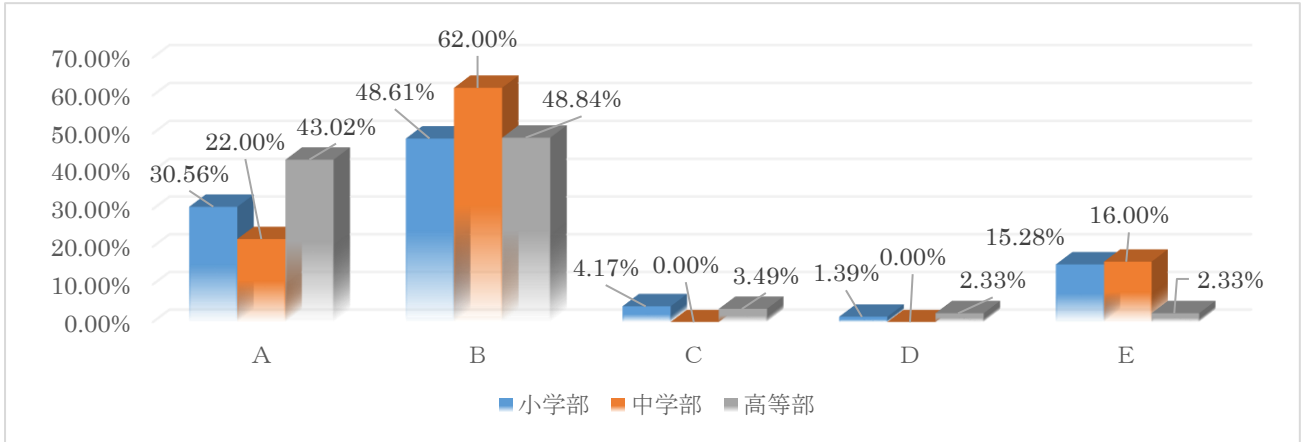


・修学旅行については、実施期日、内容の変更はあったものの、コロナ禍において、各学部、学級で感染対策をしながら、年間指導計画に沿った活動を進めてきた。授業を中心に児童生徒の発達段階、生活年齢に応じた学習づくり、卒業後を見据えた学習活動を進めることに努めた。

教務

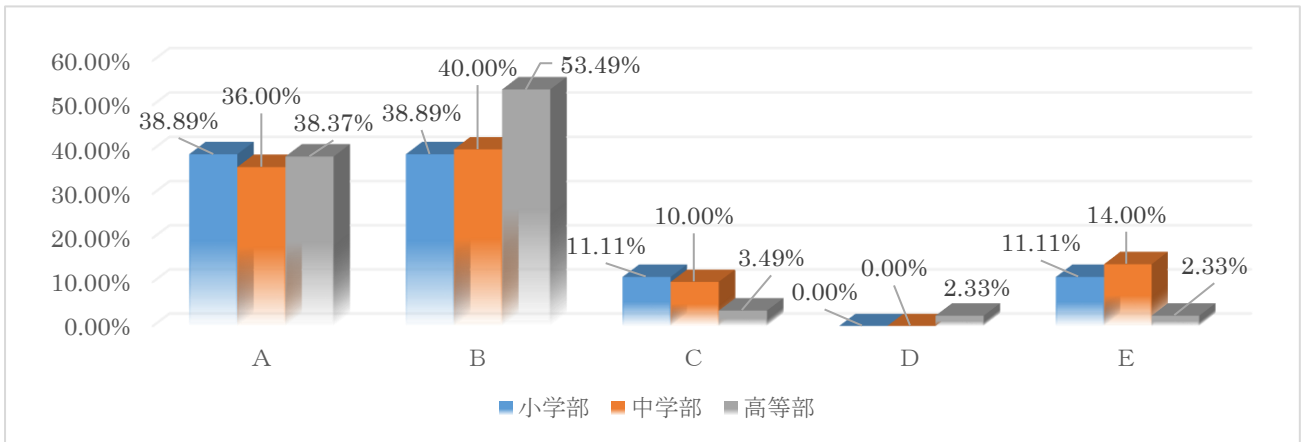
6 【カリキュラム・マネジメントの実践】

保護者・・・学校は、卒業後の姿を見据えた教育活動を組織的に行い、適切な評価が行われている。



7 【社会に「開かれた教育課程」の実現に向けた取組】

保護者・・・学校は、地域に出かけて人との交流や地域学習、地域貢献活動を計画的に行われている。

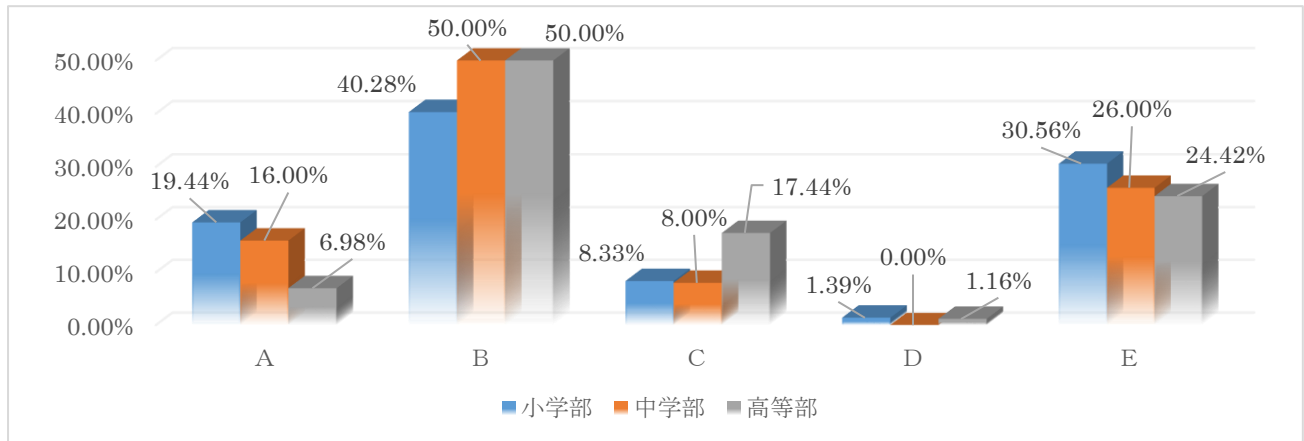


・年間指導計画や個別の指導計画を個別懇談にて説明し計画に沿って実施できた。開かれた教育課程の実現に向け、修学旅行や校外学習、総合的な学習（探究）の時間における地域学習を実施するとともに、交流及び共同学習や地域貢献学習を計画的に実施できた。

研修

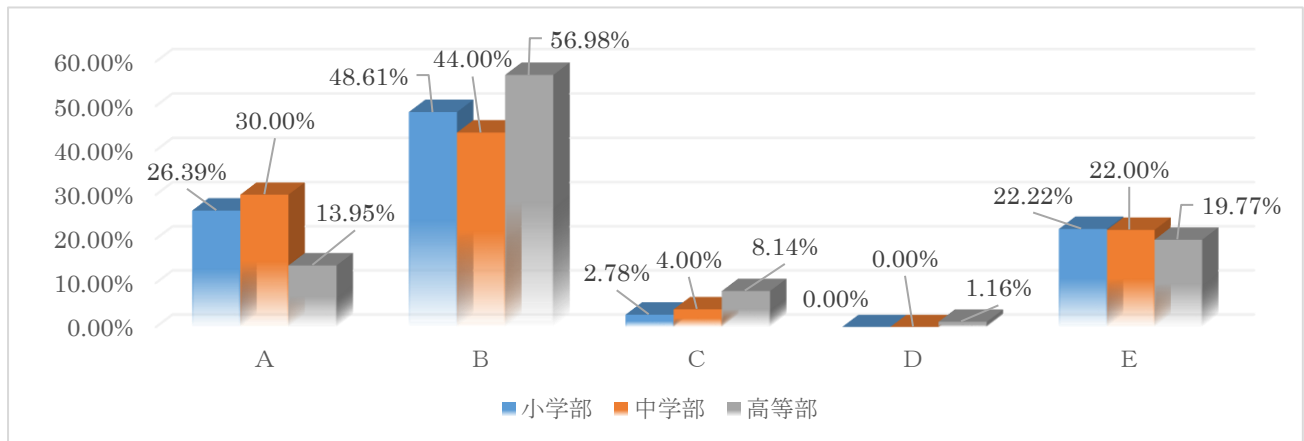
8 【研究推進】

保護者・・・学校で授業づくりの研修に取り組んでいることが分かり、少しずつ授業が変わってきたと感じている。



9 【研究推進】

保護者・・・学校は、教職員の専門性の向上を図るために、研修会や公開研究会などの研修に取り組んでいる。

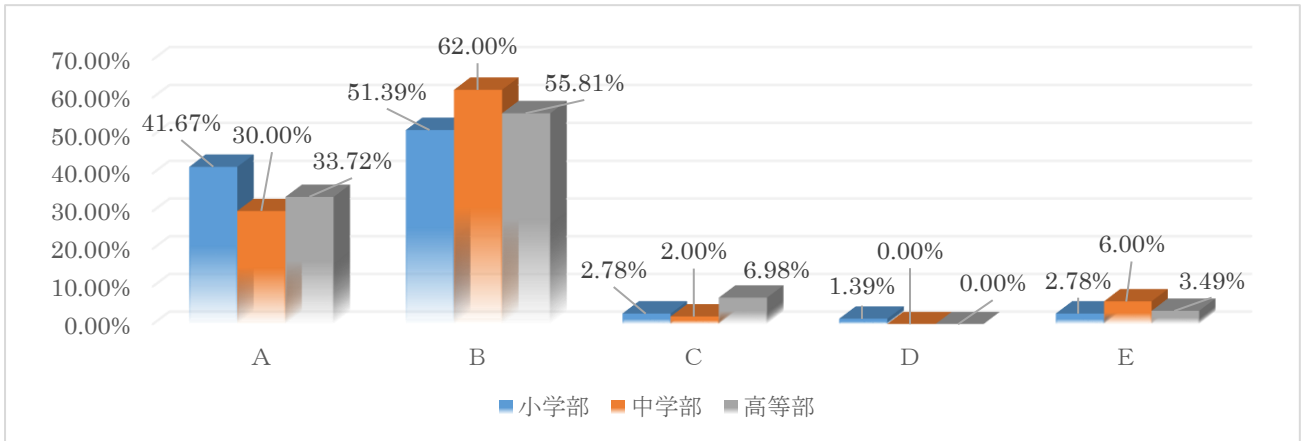


・研修部が中心となり校内研修を実施してきた。また、今年度も公開研究会を実施し、地域の教員へ発信するとともに、講演会を通して本校の実践を振り返る機会になった。授業参観や「ふくしま教育週間」を通して保護者に授業を参観してもらうとともに、研修により授業づくりや学習活動の充実を図り、児童生徒の変容を保護者と共有していく取り組みを広く発信していく必要がある。

生徒指導

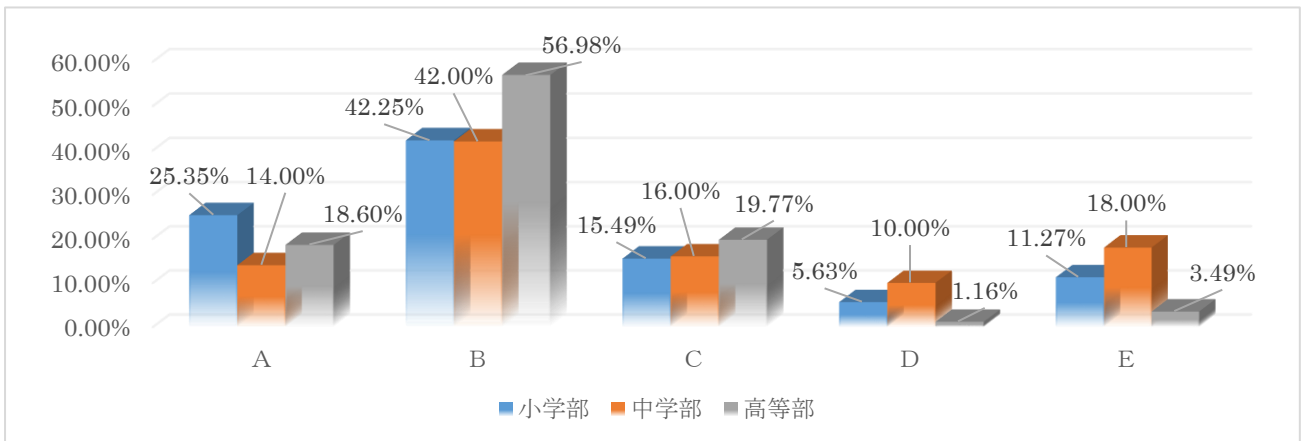
10【地域・家庭との連携による社会性の育成】

保護者・・・家庭において、児童生徒に合わせたあいさつの仕方が行われている。



11【生徒指導の改善・充実】

保護者・・・家庭において、携帯電話やゲーム機等の使用のマナーやルールに関して、望ましい使用が行われている。

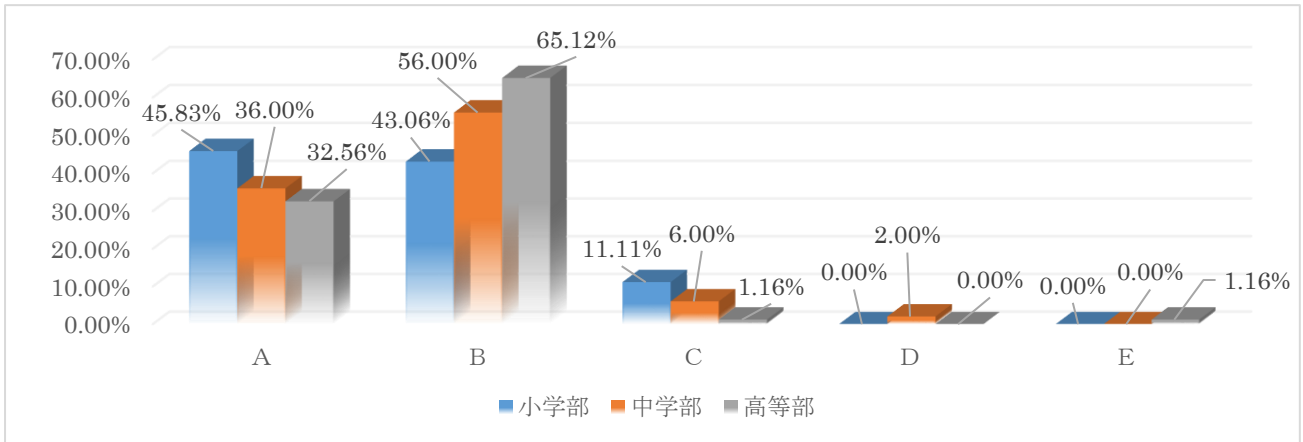


・あいさつ運動は、高等部生徒会を中心に毎月11日をあいさつの日として実施している。小学部、中学部の児童生徒もあいさつの定着が図られ、元気なあいさつが多くの児童生徒から聞かれるようになった。携帯電話や家庭でのゲーム機等の使用について、高等部では使用のマナーやルールを授業において学習するとともに、家庭と連携して繰り返し望ましい使用の在り方を促してきた。

保健

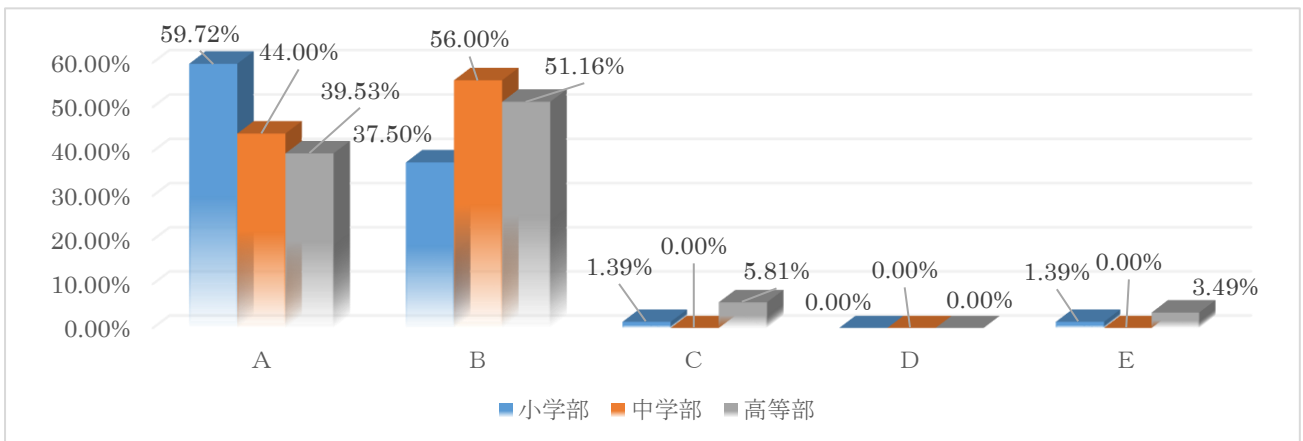
12【保健指導の充実】

保護者・・・家庭において、歯磨きや手洗い、排せつ、率先した着替えなどが行われている。



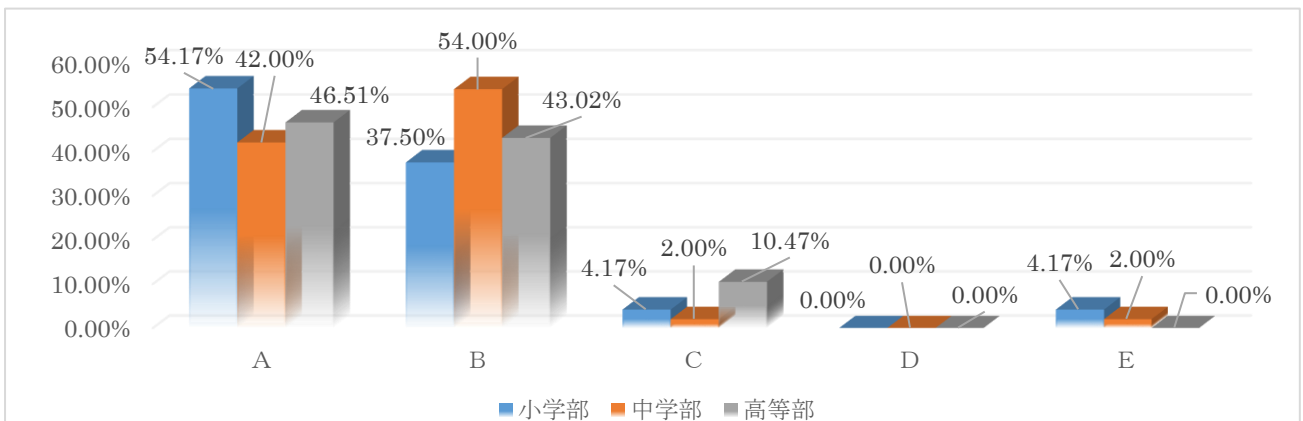
13【給食指導の整備】

保護者・・・学校は、摂食指導や食に関する指導を行い、安心安全な給食が提供されている。



14【学習環境の整備】

保護者・・・学校は、安全で安心して生活できる学習環境が整備されている。

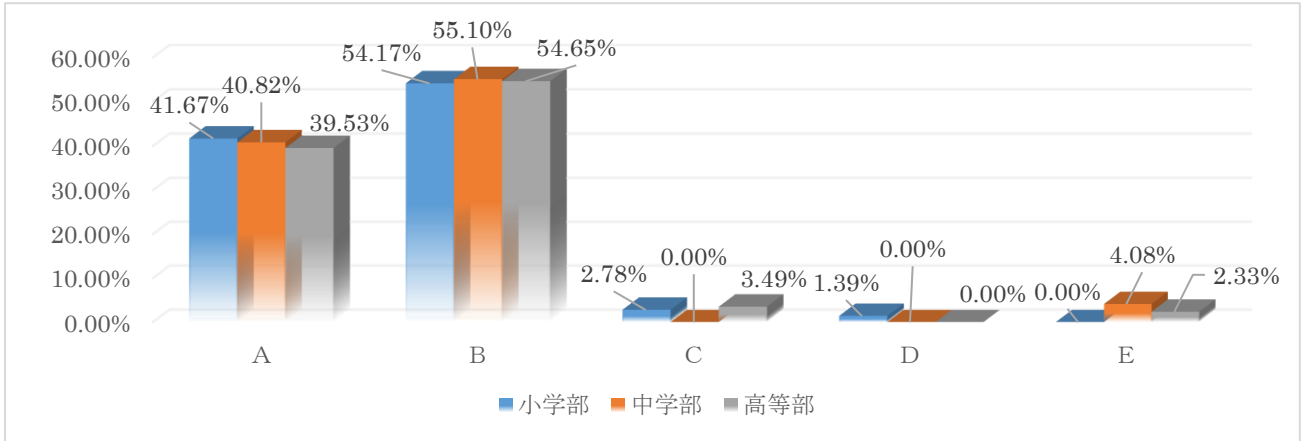


・今年度も校内の消毒作業を行うためのスクールサポートスタッフが配置され、児童生徒が使用する箇所の消毒を行っている。学級において、検温や手洗い、体調管理を徹底し、感染予防を行うとともに、安全で安心して生活できる学習環境を整備した。今年度もブラッシング指導や摂食指導を実施し、口腔ケアや健康管理の意識を促すことができた。

キャリア支援

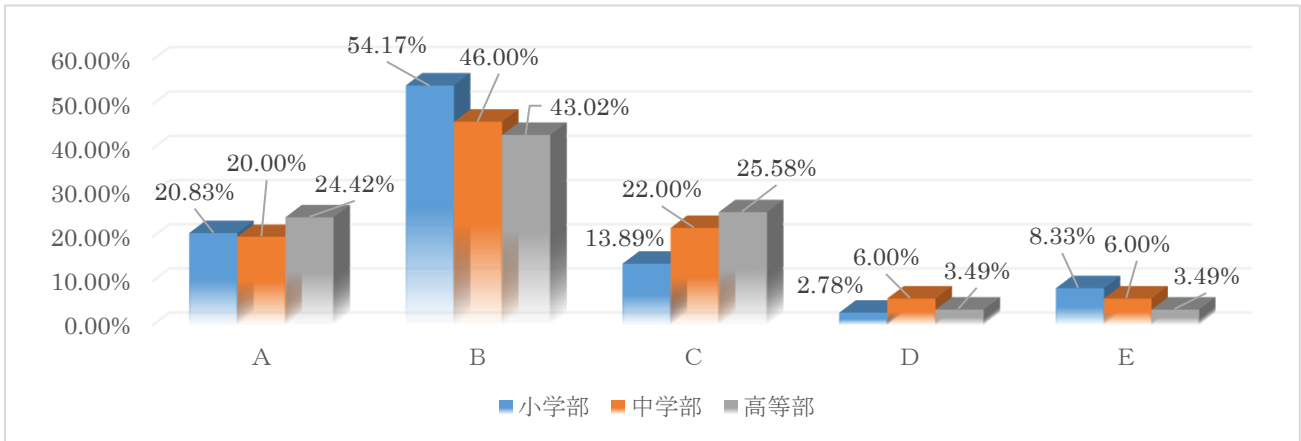
15【進路指導の充実】

保護者・・・学校は、保護者対象に進路座談会が開かれるなど、必要な情報が十分に提供されている。



16【キャリア教育の充実】

保護者・・・家庭において、規則正しい生活やお手伝いなどの決まった仕事を毎日行っている。

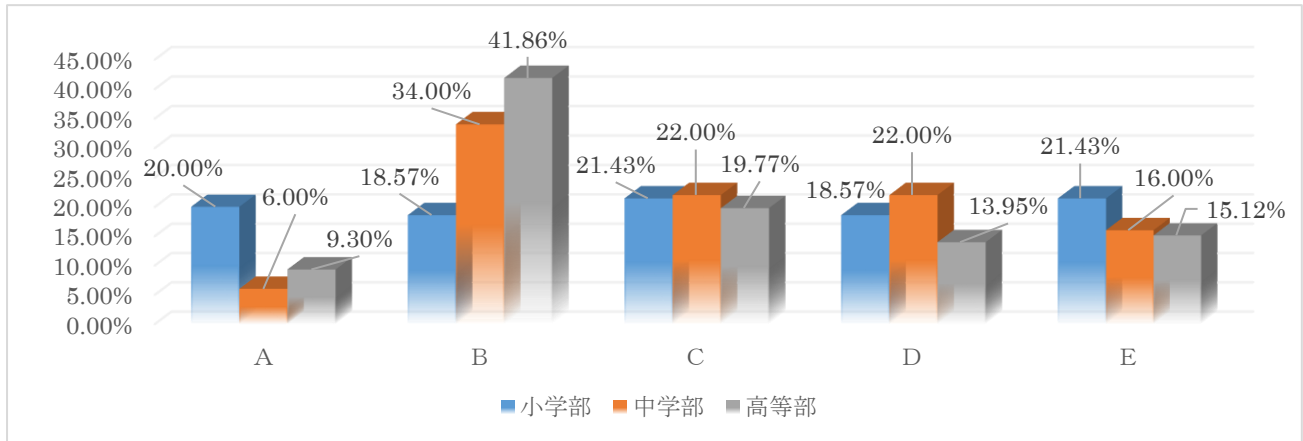


・コロナ禍でも、産業現場等における実習を実施し、関係機関と連携しなら、進路指導の充実に努めることができた。保護者向けの進路座談会など研修会を実施し、情報発信を進めるとともに、高等部だけでなく、保護者、関係機関、全ての学部へ情報提供を行い、児童生徒の作業や仕事への意識を高め、進路指導の充実に進めてきた。

情報教育

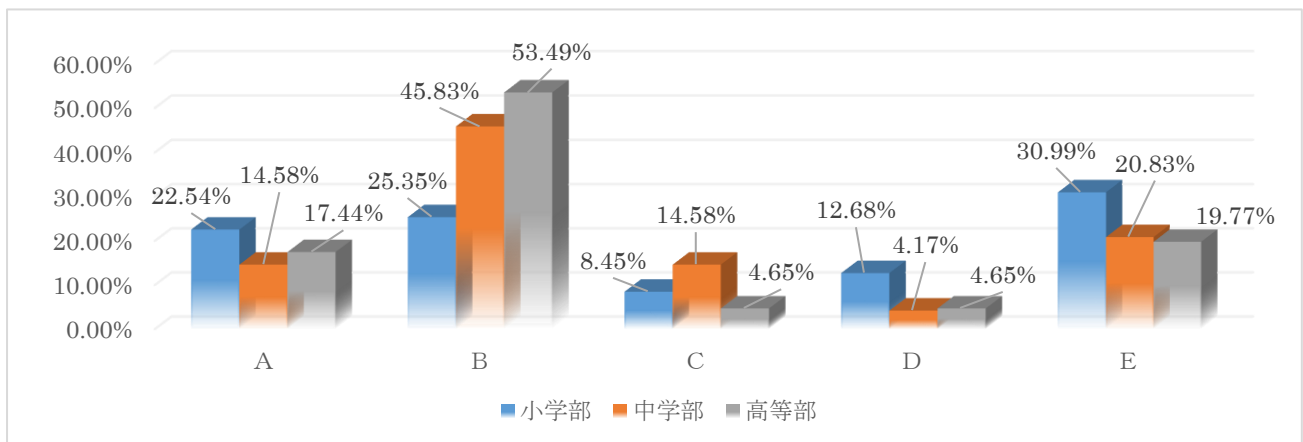
17【専門的知識の向上】

保護者・・・家庭において、学校からの動画配信などをパソコンやタブレットなどで活用されている。



18【授業への活用】

保護者・・・学校は、パソコンやタブレットなどを学校生活の中で活用し、学習などで触れる機会を設けている。

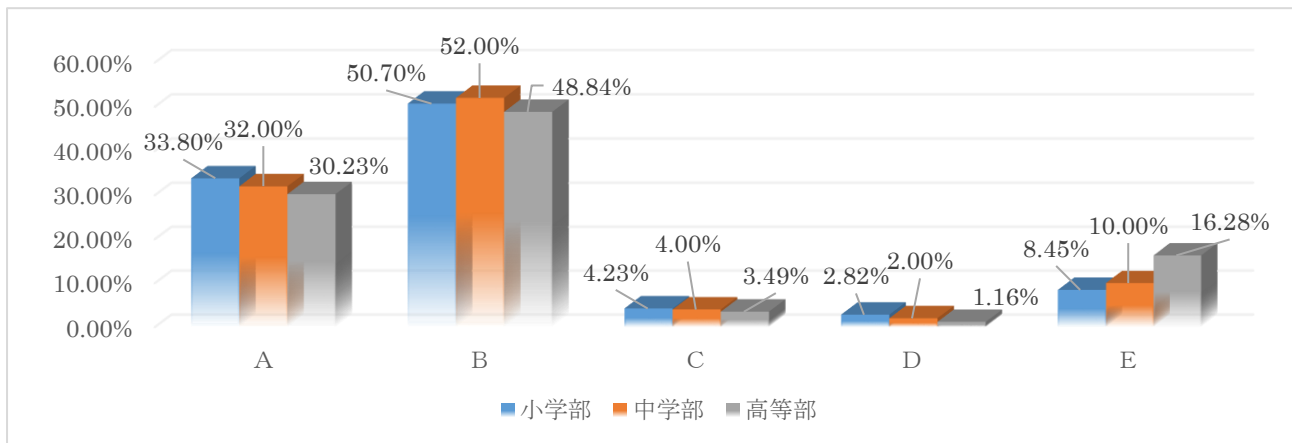


・行事や様々な学習場面で Googlemeet を使用してオンラインで学習する回数が増えてきた。訪問学級の児童生徒が校内とオンラインで定期的につながって交流するなど配信環境が整ってきた。今後タブレット端末や様々な ICT 機器の効果的な活用を進めるとともに、学習内容の工夫やソフト、アプリの整備を進めていく必要がある。

教育支援

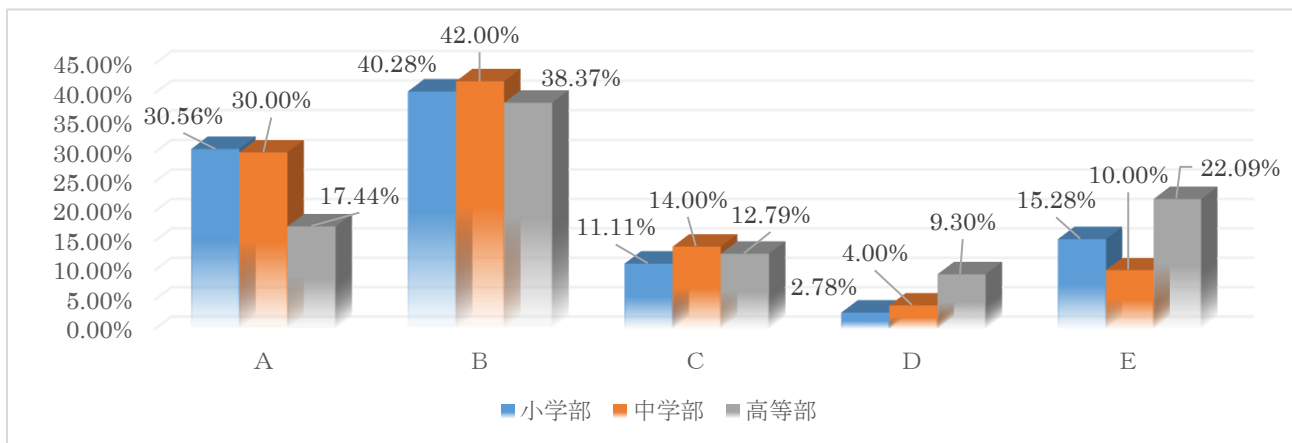
19【地域との連携、協働】

保護者・・・学校が、交流及び共同学習、居住地交流など地域の学校等と交流を行っていることを知っている。



20【教育相談の充実】

保護者・・・学校にある地域支援センター「ささっこ」のことを知っていて、利用したいと思っている。
利用したことがある。

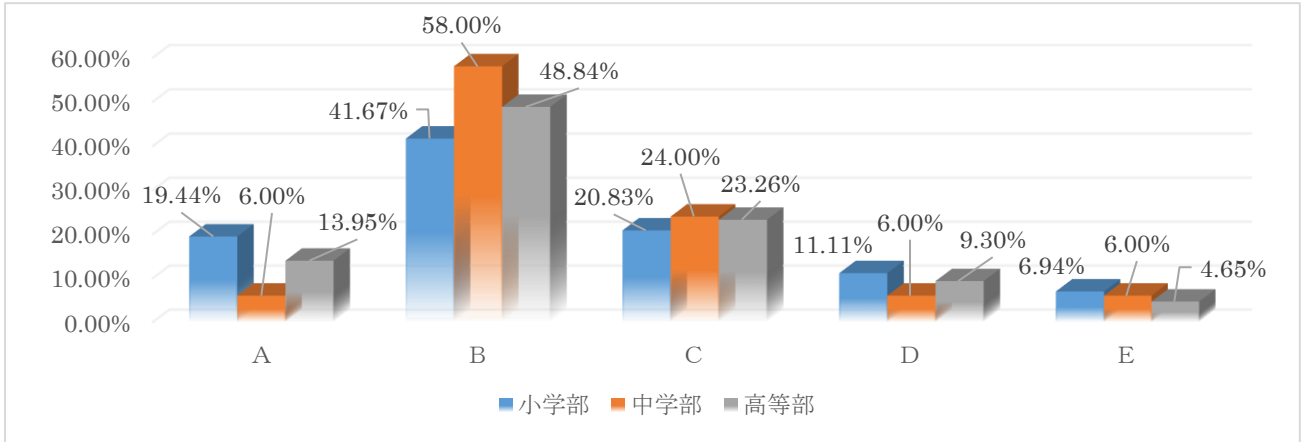


・地域支援アドバイザーや地域支援センターについて、新しいリーフレットを作成し啓発するとともに、「ささっこだより」などにより情報発信し、利用していただく方が増えた。感染症対策をしながら交流及び共同学習や居住地校交流を進め、一緒に楽しく活動する中で、相互の人間関係を深める良い機会になった。

渉外

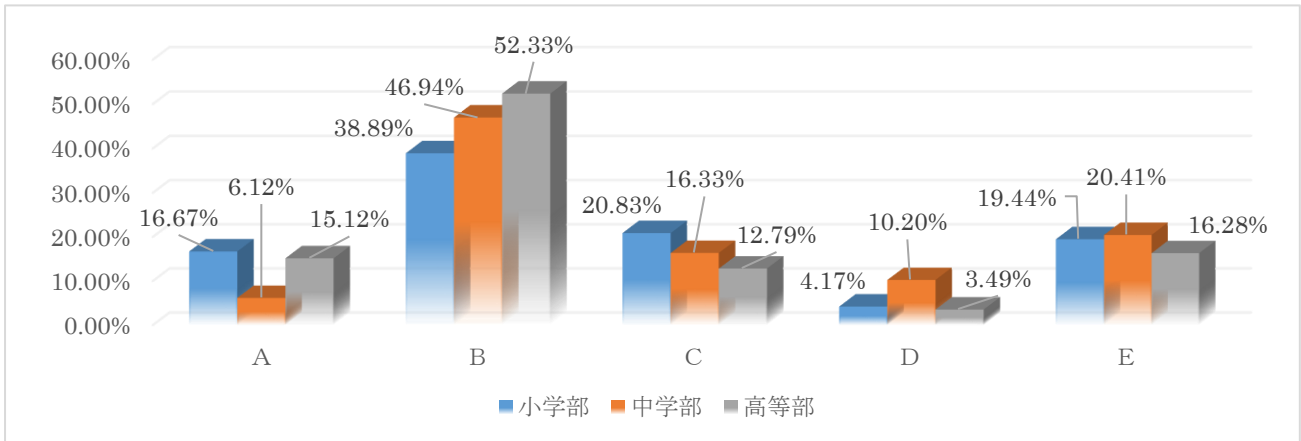
21【地域交流・地域貢献の推進】

保護者・・・PTAが行っている事業に積極的に参加している。したいと思っている。



22【会員間相互の連携・協働】

保護者・・・PTAが行っている事業をととして、会員間相互の教養が深まっている。



・コロナ過でも総会やPTA会報の発行など情報発信を進めることができたが、夏祭りや保護者と児童生徒が一緒に行う奉仕作業など残念ながら中止になった行事も多かった。リモートによる県特別支援学校知的障がい教育校PTA聯合会の研修会などもあり、コロナ禍での会員相互の連携の在り方を工夫していく必要がある。